

- 問1 札幌などの北海道西部に位置する都市では、冬の降水量（雪）が他の地域に比べて多くなる傾向があります。このような気候の特徴が生じる主な理由として最も適切な説明はどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）
1. リマン海流（寒流）の影響で冷やされた空気が、太平洋からの湿った風とぶつかるため
 2. 小笠原気団の発達により、南からの温かく湿った空気が年間を通じて供給されるため
 3. 対馬海流（暖流）の上を通る湿った空気が、北西の季節風によって運ばれてくるため
 4. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った北東風が、山脈を越えて流れ込むため
- 問2 札幌と東京の月平均気温および降水量を比較した際、札幌の気候的特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）
1. 夏の気温は東京と同程度まで上昇するが、冬は乾燥した北東の季節風の影響で降水量が減る。
 2. 一年を通して月平均気温が東京よりも高く、12月から2月の降水量は東京より少ない。
 3. 一年を通して月平均気温が東京よりも低く、12月から2月の降水量が東京を上回る。
 4. 1月の平均気温は0度を上回るが、北西の季節風の影響で冬の降水量が東京より多くなる。
- 問3 日本の国内における旅客輸送の状況について、東京都から北海道への移動を事例として説明した文として、適切なものはどれか。（2022年 栃木県公立入試 類似）
1. 青函トンネルの開通以降、鉄道による輸送コストが大幅に低下したため、航空機から鉄道への利用転換が完全に完了している。
 2. フェリーを利用した海上輸送が旅客輸送の中心であり、航空機や鉄道は補完的な手段として位置づけられている。
 3. 長距離の移動となるため、速達性に優れた航空機の利用が主流となっているが、新幹線の延伸などにより鉄道も重要な役割を担っている。
 4. 環境負荷を低減する目的から、二酸化炭素排出量の多い航空機の利用が制限されており、鉄道が唯一の公共交通機関となっている。
- 問4 ある都道府県の統計データによると、「年間訪問者数が約2,133万人」「世界遺産登録数が1件」「空港の数が14か所」「新幹線の駅の数が2か所」となっています。この統計が示す都道府県名と、その交通網の特徴を説明した文の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）
1. 神奈川県：訪問客数は非常に多いが、羽田空港に近い県内に空港はなく、新幹線の駅は5か所設置されている
 2. 沖縄県：多くの離島を抱えるため空港の数は多いが、現在のところ新幹線は開通していない
 3. 北海道：広大な面積を有するため道内の航空網が発達しており、青函トンネルを通じて新幹線も乗り入れている
 4. 奈良県：世界遺産の登録数は多いものの、内陸に位置し面積も狭いため、県内に空港は設置されていない
- 問5 北海道の農業について、生産統計で全国の約78%のシェアを占める「じゃがいも」と、約79%を占める「てんさい」の共通する特徴として最も適切な説明はどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）
1. 水はけの悪い湿地での栽培に適した作物である
 2. 寒冷な気候での栽培に適した作物である
 3. 成長に大量の高温多湿な環境を必要とする作物である
 4. 亜熱帯の温暖な気候を好む作物である
- 問6 日本で最も長い約4445kmの海岸線を持ち、砂の堆積によってできた砂州や砂嘴、陸繋島などの多様な地形が見られる都道府県における工業の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）
1. 瀬戸内海に面した立地を活かして、古くから造船業が盛んであり、現在は自動車の組み立て工場も多く進出している。
 2. 日本最大の自動車工業の拠点であり、製造品出荷額のうち輸送用機械が占める割合が極めて高く、関連工場が集中している。
 3. 京浜工業地帯の中核として、輸入された原油を精製する石油化学コンビナートや、大規模な製鉄所が海岸沿いに密集している。
 4. かつては地域内で産出される石炭や鉄鉱石を原料に鉄鋼業が発展したが、現在は輸入原料を使用し、自動車部品向けの特種鋼などを生産している。
- 問7 明治時代に行われた北海道の開拓の背景と特徴について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
1. 政府は開拓使を設置し、屯田兵による北方の防衛と大規模な土地改良を並行して進めた。
 2. アイヌの人々の独自の文化や土地利用の権利を保護することを最優先に開発が進められた。
 3. 広大な森林を維持するため、農業は一切行わずに毛皮の採取と輸出のみを推奨した。
 4. 九州地方の沿岸警備を目的として配置された防人が、大規模な志願制度によって北海道へ移された。
- 問8 日本の小麦や小豆の生産割合に関する統計において、全国の約6割（61.8%）を占めて第1位となっており、第2位の福岡県（7.6%）や第3位の佐賀県（5.7%）を大きく引き離している都道府県はどこですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）
1. 北海道
 2. 新潟県
 3. 秋田県
 4. 鹿児島県
- 問9 北海道の冬の自然景観として知られる「流氷」は、シベリア沿岸のアムール川河口付近で凍った海水が風や海流に乗って南下してくるものです。北海道を北東・南東・西の3つの海域に分けたとき、この流氷が接岸し、砕氷船による観光が行われることで知られる海域の名称を答えなさい。（2018年 山形県公立入試 類似）
1. 日本海
 2. オホーツク海
 3. 太平洋
 4. 東シナ海
- 問10 北海道の札幌（日本海側）と根室（太平洋側）の気候を比較したとき、根室で夏の気温があまり上がらず、札幌で冬の降水量が多くなる理由の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2026年 岩手県公立入試 類似）
1. 根室は冬に暖流と季節風の影響を受け、札幌は夏に寒流と季節風の影響を受けるから
 2. 根室は夏に暖流と偏西風の影響を受け、札幌は冬に寒流と偏西風の影響を受けるから
 3. 根室は冬に寒流と偏西風の影響を受け、札幌は夏に暖流と偏西風の影響を受けるから
 4. 根室は夏に寒流と季節風の影響を受け、札幌は冬に暖流と季節風の影響を受けるから
- 問11 北海道の農業において、十勝平野などを中心に大規模に栽培されている「てんさい」の生産背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 山口県公立入試 類似）
1. 亜熱帯の気候に適しており、かつては沖縄で栽培されていたものが伝わった。
 2. 水はけのよいシラス台地の特性を活かし、寒冷地でも育つよう品種改良された。
 3. 冷涼な気候に適した性質を持つため、日本では北海道が唯一の産地となっている。
 4. 温暖な気候を好む性質を持つため、夏場の長い日照時間を活かして栽培される。
- 問12 旭川市周辺において、昭和から平成にかけて田畑や空き地が住宅地や発電所へと変化した現象について、その背景にある社会的な要因として最も適切な説明はどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）
1. 自然環境を保護するために、市街地の面積を昭和初期の規模にまで縮小させたため。
 2. 交通網の衰退により、郊外からの人口流出が激しくなり、土地が放置されたため。
 3. 食料自給率を向上させるために、都市部の建物を壊して農地を拡大する政策がとられたため。
 4. 都市化の進展に伴い、居住空間の確保やエネルギー供給の必要性が高まったため。